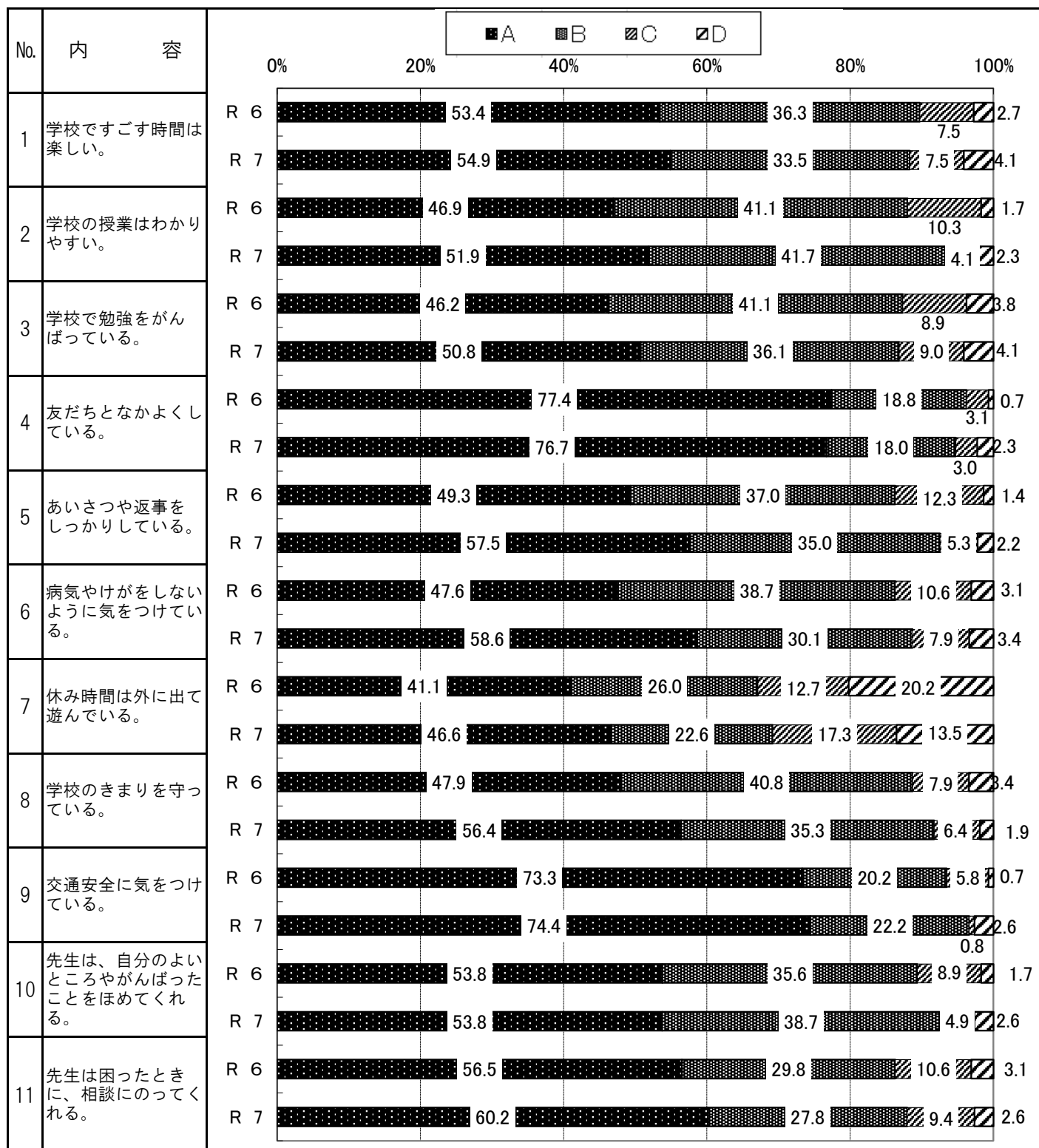


## 令和7年度 学校評価集計結果（児童）

A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない



昨年度課題となっていた「6 病気やけがをしないように気を付けている」の肯定的な回答が多くなった。特にAの割合が大きく増加した。これは、保健委員会による感染症予防パトロールなどの活動を通して感染症予防に関する児童の意識を高めるとともに、けがの予防に関する保健教育を充実させて安全に学校生活を送れるようにする取組を進めてきた結果であると考えられる。

生活習慣・規範意識・学習意欲といった「学校生活の基礎」となる部分についての項目では、肯定的な回答が増加しており、特に、あいさつ・きまり・外遊び等の項目における改善は、教員の日々の働きかけや生活委員会の活動などによって、学校の雰囲気や児童の主体性がより健全に育っていることを示しているものであると考えられる。また、学習面や教員との関係についても、肯定的な回答が増加していることが分かった。これからも現職教育に力を入れ、児童の知的好奇心を揺さぶり、児童の主体的な学びにつなげるとともに、子どもたちの取組を見守り、認められる教員でいられるように研究や修養に励んでいきたい。